

第70回“社会を明るくする運動”
～犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ～

全国の地域活動から

Zoomを活用した “社会を明るくする運動” 公開講演会の実施



区役所大会議室での
パブリックビューイング

京都 左京区保護司会
保護司 上野 修

Zoom講演会実施に至った経緯

令和2年7月に開催を予定していた「第70回」社会を明るくする運動「左京区公開講演会」は、その年の2月には開催日時が決まっていました。しかし、新型コロナウイルス感染症が拡大し、「3密」を避けるようにと京都保護観察所から連絡を受け、この講演会も中止する方向となりました。

ちょうどその頃、ウェブ会議アプリ「Zoom」を使用して京都の大学研究室と東京の会社をネットをつないだ会議に個人的に参加し、連日テレビで見て

いたオンライン会議そのままの様子が目の前で展開され、「非接触型の交流」を体験しました。インターネットでZoomを検索して試しに起動し、当会の有志で「社会を明るくする運動」の活動について話し合ってみると好評でした。その後、Zoomを使った会議は、当会で徐々に広がっていったのです。5月中旬、Zoomを使用したオンライン公開講演会を開催したい旨を、講師と「社会を明るくする運動」左京区推進委員長に伝え、快諾を得ました。

講演会の告知と準備

Zoomでの参加方法を記したフライヤー（ちらし）で告知しました。オンラインでの参加希望者には招待メールを送信するため、フライヤーのQRコード等から当会ホームページに遷移して、参加を申し込んでもらいました。Zoomの使用に不安がある人には、定員を設けたパブリックビューイング会場を用意し、FAXで申込みを受け付けました。京都府保護司会連合会の桑村信慶会長も参加されることになり、舞鶴地区と京都市内合わせて3か所のパ

ブリックビューイング会場が決定しました。

Zoom使用にはパソコンとWi-Fi環境が不可欠です。講演場所として左京区役所の小会議室を確保し、当会から講師用のパソコンを貸し出すとともに、左京区役所の大会議室、小会議室用に2台のポケットWi-Fiを手配しました。

6月29日にリハールサルを実施、各会場で練習会を開催するなど、いろいろ試行錯誤しながら、7月29日の本番当日を迎えました。

講演会の当日

精神科医の定本ゆきこ先生に「大人が変われば子どもが変わる」という演題で講演していただきました。非接触型の講演会でしたが、丁寧に事例を挙げて分かりやすくお話しいただき、発達障害について理解を深めることができました。

講演会には、北海道旭川市の保護司や、オーストラリア・ブリスベン在住の講師の娘さん等、遠方からも参加がありましたがお2人とも音声・映像の乱れもなく質疑応答できました。途中、聞き苦しい

雑音が発生しましたが、終了時には、参加者から「凄かった!!」との感想とともに拍手が沸きました。

なお、講演会の参加者は、Zoomオンライン68人、パブリックビューイング40人で、合計108人（当会の保護司29人を含む）でした。

今後の展望

新型コロナウイルス感染症を巡る状況から、令和3年度も引き続き「3密」を避けなければならない状況が続くそうです。

Zoomを活用した非接触型の講演会に興味をお持ちの方は、これを機に是非とも一步を踏み出されることをお勧めします。主催者にはZoomアカウントの取得（有料版・無料版あり）が必要ですが、参加者は、パソコンやスマートフォン、タブレット等の端末があれば無料で参加できる便利なツールです。練習会をするたびに、孤立から解放される気分を味わっていただけなのではと思います。

詳しくは下記の活動報告を御覧ください。

<http://sk-hogoshikai.com/archives/3229>

